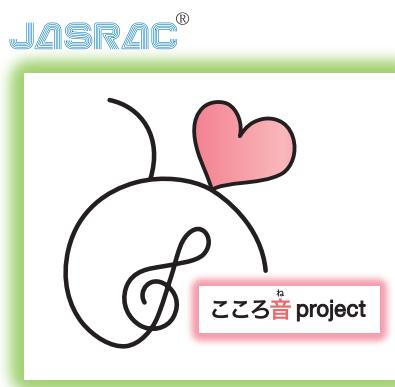


東日本大震災復興支援 「こころ音^ねプロジェクト」



2015年11月18日

音楽で被災地を応援しよう

「こころ音プロジェクト」とは

東日本大震災からの復興と被災地の音楽文化の振興に役立てていただくことを目的として、JASRACの会員・信託者（作詞者・作曲者・音楽出版者等）が指定した作品の著作物使用料を震災復興支援基金「こころ音基金」に拠出していただく仕組みです。

歌って聴いて被災地を応援

皆さんが「こころ音プロジェクト」に参加する作品を歌ったり、聴いたりされた、その著作物使用料が被災地の復興支援に充てられます。

参 加 作 品 数：398作品

参 加 者 数：199者

基 金 の 現 在 額：37,493,421円

（2015年10月）

基金の一部の寄付先が決定しました

寄付先：釜石市

2016年3月11日で震災から5年という
節目を迎えることを機に、
岩手県釜石市の市民ホールの建設費用の一部として、
「こころ音基金」から
1,000万円を寄付することになりました。

支援先の検討にあたっては、
本プロジェクトの目的に鑑み、
一時的なものではなく、将来にわたり
音楽を通じた復興に役立てていただけるよう
音楽ホール等の建設費用の一部として
寄付することを基本的な方針としました。

2017年10月の完成を予定している
釜石市の市民ホールは、
“市民に愛され 市民の心を熱くする
市民文化の総合支援拠点”を基本理念とし、
地域の復興と新しいまちづくりに向けて、
被災した旧釜石市民文化会館に替わる
文化活動施設として建設されます。

新たに誕生する市民ホールが
釜石市の皆さんに永く愛され
多くの感動と希望が生まれることを
心より願っています。



一般社団法人 日本音楽著作権協会
東京都渋谷区上原3-6-12 TEL 03-3481-2121(代表)